

教育研究上の目的

十文字学園女子大学は、「身をきたへ 心きたへて 世の中に たちてかひある 人と生きなむ」の建学の精神に基づき、社会の要請に応じる学術の理論を備え、学術の応用を実践する能力と態度を身につけることによって、社会・文化の発展に貢献する人間性豊かな人材を育成することを目的とする。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

十文字学園女子大学は、教育目標に定める人材を育成するため、その実現に向けて以下の能力等を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与する。

1. 建学の精神に基づき、社会のなかでどのように生きていくのか、また、どのような形で社会に貢献しようとするのかを生涯にわたって探究する意欲と実践力を備える
2. 自らの所属する学部学科において修得した専門的な知識・技能・態度・研究方法を、社会・地域において進んで活用しようとする意欲と実践力を備える
3. 社会・地域や人間生活における現代的な課題を主体的に探究し、解決しようとする意欲と実践力を備える
4. 広い視野と豊かな人間性を備え、社会に参画する態度、および人々と連携・協働しようとする意欲と実践力を備える
5. 大学での学修を通じて修得したコミュニケーション力を活用し、人々と柔軟な関係を築きつつ、人間主体の社会を実現しようとする意欲と実践力を備える

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

十文字学園女子大学は、学位授与の方針に掲げる知識・技能・態度などを学生が修得するために、共通科目、専門科目、およびその他必要とする科目を体系的に配置した教育課程を編成する。社会・地域および学生の多様なニーズに応えるために編成した3学部9学科体制を生かし、共通科目および他学科開放科目において、学部学科を超えた学生同士の学び合いの活性化を目指す。地域と共にある大学として、共通科目においては、地域を学習の場や対象とした学びを推進する。

1. 初年次にゼミナール科目を必修として、大学での学びへの円滑な導入を図り、学部学科の学びを理解するとともに、自ら課題を設定し、主体的に学修に取り組む姿勢を養う
2. 共通科目では「ゼミナール」「総合」「女性を生きる」「社会に生きる」「保健体育」「情報処理」「外国語（基礎科目）」「外国語目的別科目」「日本語（非母語者向）」「キャリア教育」の10領域を設定して、生涯にわたり社会で活躍する人間として必要となる基礎的な知識・技能・態度を養う
3. 共通科目において、地域を学習の場や対象とした科目を設定して、地域の意味と意義、地域で生きることに対する理解を深め、地域と積極的に向き合っていく態度を養う
4. 共通科目および他学科開放科目の履修により、多様な学問領域に触れ、専門性の裾野を広げるとともに、幅広い視野を身に付け、学際的な知識と柔軟な思考力を養う
5. 学科は専門科目を設定し、専門的な知識や技能を修得することで、社会に貢献する力を養う
6. 修得してきた知識・技能を統合し活用する能力を養う科目を4年次に設定し、主体的かつ継続的に課題の探究に取り組み、生涯にわたり意欲的に学び続ける力を養う

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

十文字学園女子大学では、建学の精神である「身をきたへ 心きたへて 世の中に たちてかひある 人と生きなむ」に賛同し、かつ次の項目に該当する学生を求める。受験生の特徴がより発揮されることを目指して、様々な入試種別を用意する。

1. これからの社会における女性の生き方を積極的に考える意欲があること
2. 自らの人生を主体的に考え、自分らしい生きがいを実現したいという意欲があること
3. 他者と協働しつつ、人への理解を深めようとする意欲があること
4. 豊かな社会・地域や人間生活の実現を目指そうとする意欲があること
5. 大学での学びの基本となる、高校までの教科に関する基礎的な知識と技能を身につけていること